

新規就農先輩の軌跡 N016

新規就農者の素顔	農業経営の状況（現在）
 <p>氏名： 小寺清隆 こてらきよたか</p> <p>住所： 尼崎市浜田町</p> <p>年齢：27歳</p>	<p>農地：水田 55a、畑 25a 施設：ビニールハウス 8a 経営内容： ・ハウストマト 8a ・軟弱野菜 60a ・水稻 50a 労働力：本人、父、母、妻 出荷先：自家直売、JA直売所、市場</p>  <p>家族と共に</p>
就農から現在まで	就農で良かった点、苦労した点
<p>2004年 兵庫県立農業大学校卒業 就農</p> <p>2005年 パイプハウス導入 ハウストマト栽培開始</p> <p>2006年 半促成栽培開始</p>  <p>トマト販売日にはハウスの周りに行列ができる</p>	<p>○良かった点 長時間並んで買ってきてくださる方々から「スーパーで売っているトマトが食べられなくなった」「昔懐かしいトマトの香りがする」とうれしい言葉が聞けること。「コテラトマト」を応援してもらっていること。</p> <p>○苦労した点 予期しない害虫の発生で収穫ができなくなってしまったことがあります。応援してくれているおばちゃん達に喜んでもらえるトマトができるのか、今でも不安になることがあります。</p>
農業をめざした動機	後輩へ贈る言葉
<p>小学校2年生の時、社会見学で自分の家の田んぼを見る機会があり、父親の作業する姿に憧れを感じ、将来は父親と一緒に農業をしたいと強く思いました。</p>	<p>私も農業大学校の派遣実習で教わったのですが、「基本」「情報」「数字」「体」「夢」を大切にして努力していただきたいと思います。</p>